



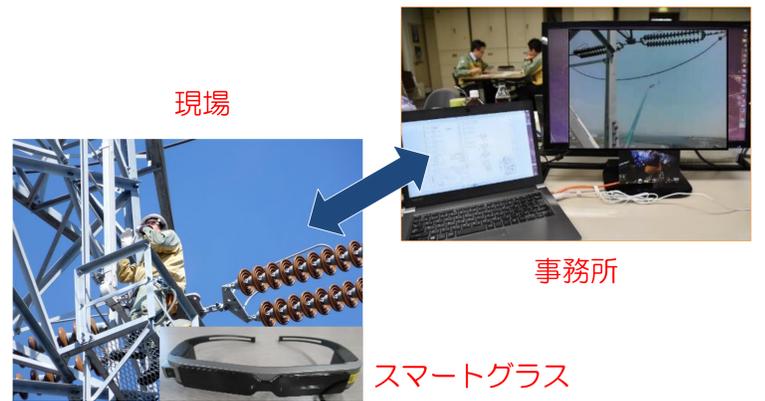
中部電力

ウェアラブル端末を用いた現場業務支援

現場状況の正確な把握や的確な支援が図れます。



現場と事務所の遠隔通信システム



背景・目的

- ウェアラブル端末(スマートグラス)はハンズフリーで映像撮影や情報表示が可能なため、送電鉄塔の高所作業をはじめ電力業務への適用が期待できます。このグラスを活用し、現場状況を事務所で迅速かつ正確に把握できる遠隔通信システムの確立に取り組んでいます。従来の無線や携帯電話などの音声だけの連絡手段と比較して、映像と音声を使い、より確実なコミュニケーションが図れます。

特長

- 作業員目線の現場状況を撮影し、リアルタイムに事務所へ伝送できる。
- 両手が塞がらないため、グラス上へ設備情報を表示しながら的確かつ安全に作業できる。
- 事務所から現場作業員のグラス上へ図面データなどを表示して、詳細な指示ができる。

用途

- 工事現場の監視業務や電気故障・災害対応業務など、事務所から現場状況をリアルタイムに把握する。
- 作業員が現場で作業を行う場合に、遠隔支援として事務所から指示をする。

鉄塔上部からの映像例



地上部からの映像例



変電所での映像例



開発者のひとこと

ソフトウェア・ハードウェア・ネットワークを改善し、映像・音声をクリアかつ高品質に伝送したり、映像のタイムラグや不安定さを解消する最適な通信システムを確立することが今後の課題です。

今回は隣接で実演している「活線碍子洗浄」の作業員が装着しているスマートグラスのカメラ映像を遠隔通信システムを用いてリアルタイムで大型ディスプレイに放映します。